

【産学連携】学生の創造力と企業の技術が融合**文化デザイナー学院にてプランターコンテストを実施****コンクリート業界認知向上と採用促進に向けた共同取り組み**

プレキャストコンクリート製品とマンホールの開発・製造を行う小河原セメント工業株式会社（本社：茨城県水戸市、代表取締役：小河原 隆次）は、文化デザイナー学院の建築設計デザイン学科と協力し、業界の認知拡大およびコンクリートの魅力の啓発と、採用に繋がることを目的とし、文化デザイナー学院の建築設計デザイン学科との活動を展開しています。7月に開催された「プランターコンテスト」では、2年生の優秀作品が選出され、9月にはそのデザインを製品化するためのコンクリート型作りの授業を実施。当社社員が講師を務め、学生に実践的な技術を伝授しました。今後は製品化、2024年12月には、構内にて販売をおこなう予定です。



プランターコンテスト



コンクリートの型を作る授業

このプロジェクトは、当社が技術委員長を務める茨城県コンクリート製品協同組合にて、コンクリート製品検定を一般の方々や学生に知ってもらいたいという想いから始まりました。初めは検定だけのご相談でしたが、コンクリート製品は建築設計デザインには欠かせない素材という事もあり、教育プログラムへと発展し、現在では文化デザイナー学院の1年生から3年生までのカリキュラムに組み込まれています。具体的な取り組みとして、建築学科の学生たちがコンクリートという素材の特性を深く理解するためのプログラムを提供し、建築における素材理解を促進しています。

<現在の取り組み内容>**1年生：工場見学とコンクリート検定**

コンクリート工場を見学し、素材としてのコンクリートに対する理解を深め、業界の基礎知識を学びます。コンクリート製品検定を受験します。

2年生：プランターコンテスト

2年生はコンクリートで制作するプランターのデザインを競ったコンテストを開催。優秀作品は製品化され、構内にて販売されます。審査員として当社が参加し、デザイン優秀作品を決定。また、社員が講師として文化デザイナー学院に出向き、プランターの制作に必要なコンクリート型作りの講習会を実施します。

3年生：圧縮強度試験

3年生では、建築分野の圧縮強度試験が行われ、より実践的なスキルを習得します。試験の実施会場の提供と試験監督をおこないます。

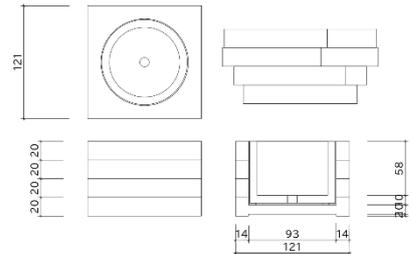
2年生のプランターコンテストを実施、優秀賞の1作品を決定

文化デザイナー学院 建築設計デザイン学科 2年生を対象にした「プランターコンテスト」は、学生がコンクリートという素材を活かし、自身のデザインアイデアを形にする重要な実習の一環として開催されています。7月に行われたこのコンテストには、当社の代表の小河原が審査員として参加し、学生たちが提出した多彩なプランターデザインを審査しました。

コンテストでは、建築やデザインに対する学生の情熱と創造性が表現され、独創的かつ実用的なプランターデザインが数多く提案されました。審査においては、デザインの美しさや独自性だけでなく、コンクリートという素材の特性をどれだけ深く理解し、それをうまく活かしているかが評価の大きなポイントとなりました。最終的に、特に優れたデザインを提案した1名が「優秀賞」として選ばれました。この選出は、学生のアイデアがどのように現実の建築素材に応用できるかを示す重要な機会でもありました。



プランターコンテストの時の様子



優秀賞の作品「螺旋」のデザイン図

実践経験が業界理解と関心を深める一歩へ

社員が特別講師として「コンクリート型づくり」の講習会を実施

9月には、優秀賞を受賞した学生のデザインを実際に形にするプロジェクトがスタートしました。このプロセスの一環として、小河原セメント工業の社員が文化デザイナー学院を訪れ、特別講師として授業に参加。プランターの制作に不可欠な「コンクリート型作り」の講習会を実施しました。

講習会では、まず学生たちに対して、コンクリートの物理的な性質や型を作る際の注意点、そして強度や耐久性を保ちながらデザイン性を高めるための技術的な知識が共有されました。特に、実際の建築現場で用いられる技術や方法論を反映させた型作りの工程は、学生にとって非常に実践的な学びの場となりました。

講師を務めた小河原セメント工業の社員は、長年の経験に基づく専門知識を学生に伝えることで、デザインを「アイデア」から「製品」へと具現化するプロセスを具体的に指導しました。学生たちは、自分の手で型を作り、コンクリートを流し込む作業に初めて取り組むことで、素材の扱い方や設計プロセスをより深く理解し、次世代の建築に向けたスキルを培いました。



コンクリートの型作りの様子

コンテスト優秀賞デザインのプランター販売へ

学生と企業とのタッグによるコンクリート業界の未来

このプロジェクトを通じて制作されたプランターは、今後文化デザイナー学院内の店舗で実際に販売される予定です。

学生たちにとって、自分のデザインが現実の商品として販売される経験は大きな励みとなり、また業界への理解と関心を高める重要な機会となることを望んでいます。



今後も文化デザイナー学院との協力を継続し、業界の認知拡大と若

優秀賞のプランターをコンクリートで製作

手人材の育成に努めてまいります。

【文化デザイナー学院】

茨城県水戸市にあるデザイン分野の人材育成専門学校です。広告プロモーションデザイン学科、ファッションビジネス学科、建築設計デザイン学科、キャリアアップデザイン学科の4つの学科を設置しています。

創立70年以上の歴史を誇り、県内唯一のデザイン専門学校として、多くの学生を輩出しています。「WILLを育て、地域社会と向き合える心を持ったデザイナーを育成する」ことを理念に掲げています。

HP : <https://bunka-gakuen.ac.jp/>



作品名である「螺旋」のようなデザイン

【小河原セメント工業様】

小河原セメント工業は、1942年、太平洋戦争中に創業し、セメント製の屋根瓦の製造から事業をスタートしました。1953年に現在の社名へと改称し、その後、コンクリート製造・販売へと事業を拡大。マンホールやL字側溝など、インフラ整備に欠かせないプレキャストコンクリート製品の製造を行っております。また、駐輪ブロックなどの自社製品も開発・製造・販売し、幅広いニーズに応える取り組みを続けています。

※プレキャストコンクリート製品とは

工場など現場外で事前に製造されたコンクリート製品を指します。工場であらかじめ製造された製品は、品質管理が徹底されており、施工現場へ運搬して迅速に設置できるため、工期の短縮や品質の安定に貢献しています。

【会社概要】

会社名 : 小河原セメント工業株式会社

所在地 : 茨城県水戸市笠原町 1783-1

代表者 : 代表取締役 小河原 隆次

設立 : 1942年

事業内容 : プレキャストコンクリート製造販売及びマンホール更生工事

企業 HP : <http://www.ogawara-c-i.co.jp/>



本件に関する報道関係者お問い合わせ先

小河原セメント工業株式会社

TEL : 029-292-2618 MAIL : isaka@ogawara-c-i.co.jp

広報担当 : 井坂 (090-2438-1346)